報告第１号　平成 29 年度事業報告

Ⅰ　会務報告

会長　渡邊昌子

平成 29 年度理事会・常任理事会について

１　理事会開催状況

回	開催年月日	出席者		
		理事	監事	事務局
1	平成 29 年　5 月 23 日	19	2	2
臨時	平成 29 年　6 月 28 日	19	2	2
2	平成 29 年　7 月 19 日	21	2	2
3	平成 29 年 10 月 24 日	21	3	2
4	平成 29 年 12 月 19 日	19	3	2
5	平成 30 年　3 月 20 日	19	3	2

主要協議事項

（1）静岡県看護協会学識経験者理事・監事候補者について
（2）平成 28 年度事業報告（案）について
（3）平成 29 年度定時総会議案について
・平成 28 年度決算書（案）及び監査報告
・役員選挙　・推薦委員選挙
・平成 30 年度日看協通常総会代議員及び予備代議員選挙について
（4）平成 29 年度定時総会静岡県看護協会会長表彰について
（5）静岡県看護協会「職能委員会」「委員会」委員の選任（案）
（6）会長（代表理事）及び副会長の選定
（7）専務理事、常務理事の選定
（8）会長の職務を代理する副会長の順序
（9）専務理事の職務を代理する常務理事の順序
(10) 看護師職能理事の委員会委員長の選定
(11) 平成 29 年度事業報告（四半期）
会務・庶務報告、教育研修部報告、事業部報告
(12) 平成 30 年度定時総会の日時及び場所について
(13) 平成 29 年度中間事業報告
会務・庶務報告、教育研修部報告、事業部報告
(14) 平成 29 年度中間会計報告
(15) 公益社団法人静岡県看護協会指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正（案）
(16) 公益社団法人静岡県看護協会育児・介護休業等に関する規程の改正（案）
(17) 訪問看護ステーション大東所長の採用について（案）
(18) 平成 30 年度　静岡県看護協会　事業計画・重点事項（案）
(19) 平成 30 年度　教育計画（案）
(20) 平成 30 年度　日本看護協会名誉会員候補者の推薦について
(21) 平成 30 年度事業計画（案）
(22) 平成 30 年度当初収支予算書（案）
(23) 平成 30 年度職能委員会委員補欠候補者について
(24) 公益社団法人静岡県看護協会規程の改正（案）

２　常任理事会開催状況

回	開催年月日	出席者	
		理事	事務局
1	平成 29 年　4 月 11 日	6	3
2	平成 29 年　5 月 16 日	6	2
3	平成 29 年　6 月 13 日	6	5
4	平成 29 年　7 月 11 日	6	2
5	平成 29 年　8 月 8 日	6	2
6	平成 29 年　9 月 12 日	6	4
7	平成 29 年 10 月 11 日	5	2
8	平成 29 年 11 月 14 日	6	4
9	平成 29 年 12 月 12 日	6	2
10	平成 30 年　1 月 10 日	6	2
11	平成 30 年　2 月 14 日	6	4
12	平成 30 年　3 月 13 日	6	2

主要協議事項

（1）平成 29・平成 30 年度静岡県看護協会役員選挙候補者について
（2）平成 29・平成 30 年度推薦委員会委員候補者について
（3）平成 30 年度日看協代議員・予備代議員候補者について
（4）平成 29 年度静岡県看護協会長表彰候補者について
（5）平成 29 年度定時総会進行予定表（案）・特別講演会について
（6）平成 29 年度静岡県受託事業について
（7）平成 29 年度第 1 回医療・福祉施設等看護代表者会議（案）について
（8）平成 29 年度防災会議（案）について
（9）第 1 回地区支部長連絡会議（案）
(10) 訪問看護ステーションいわた　人事について
(11) 平成 28 年度事業報告（案）
(12) 平成 28 年度決算書（案）
(13) 関係機関・団体の役員・委員候補者の推薦
(14) 第 1 回定時理事会（案）
(15) 平成 29 年度「職能委員会」「委員会」委員候補者について
(16) 看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援モデル事業について
(17) 看護職の心に残る「看取り集」について
(18) 日看協看護職連携構築モデル委託事業について
(19) 「第 39 回母子保健奨励賞」「第 4 回昭和上條医療賞」候補者の推薦について

(20) 平成 29 年度定時総会の運営会議について
(21) 平成 29 年度役員・委員研修会について
(22) 平成 29 年度地区支部会議（案）
(23)「静岡県在宅医療・介護連携情報システム（愛称：シズケア＊かけはし）」の運用に係る利用者負担について
(24) 平成 29 年度知事功労別表彰（保健衛生功労）・公衆衛生事業功労者の表彰候補の推薦について
(25) 平成 29 年度定時総会提案及び対応について
(26) 平成 30 年度定時総会の日時及び場所について
(27) 静岡県看護協会・静岡県訪問看護ステーション協議会連携会議について
(28) 第 2 回定時理事会議案について
(29) 静岡県看護協会・看護連盟合同研修会について
(30) 厚生労働大臣表彰候補者の推薦について
(31)「平成 30 年度看護の日・週間企画実行委員会」委員の推薦について
(32) 認定看護管理者教育運営委員会委員について
(33) 第 46 回医療功労賞（海外部門）候補者の推薦について
(34) 第 21 回秩父宮妃記念結核予防功労賞　結核予防保健看護功労賞候補者の推薦について
(35) 看護補助者活用推進のための看護管理者研修について
(36) インシデント・アクシデント・レポート（案）
(37) 平成 30 年度の事業計画・予算編成について
(38) 平成 30 年度年間行事予定について
(39) 公益社団法人静岡県看護協会指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正
(40)「看護職の賃金モデル導入支援者研修」について
(41)「労務管理研修会」について
(42) 平成 29 年度第 1 回委員長・地区支部長合同会議（案）
(43) 平成 29 年度中間会計報告
(44) 平成 30 年度教育計画（案）
(45) 訪問看護ステーション大東所長の採用について（案）
(46)「第 7 回杉浦地域医療振興賞」候補者の推薦について
(47) 第 49 回日本看護学会－慢性期－学術集会について
(48) 平成 30 年度静岡県看護協会事業計画　重点事項（案）
(49) 第 2 回委員長・地区支部長合同会議（案）
(50) 第 2 回地区支部長連絡会議（案）
(51) 平成 30 年度日本看護協会名誉会員候補者の推薦について
(52) 平成 30 年度日本看護協会長表彰候補者の推薦について
(53) 第 2 回静岡県看護協会・看護連盟合同研修会（案）
(54) 第 4 回定時理事会（案）
(55) 第 2 回医療・福祉施設等看護代表者会議（案）
(56) 平成 30 年度　行事計画（案）
(57) 平成 30 年度「看護の日記念行事」について
(58) 第 49 回日本看護学会－慢性期看護－学術集会展示ブース内容について
(59) 平成 30 年度「看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援モデル事業」フォーラム開催について
(60) 第 2 回看護職の心に残る「看取り集」について
(61) 看護補助者活用推進のための看護管理者研修について
(62) 新会員情報管理システム（ナースシップ）研修受講履歴管理システムについて
(63) 第 70 回保健文化賞候補者の推薦について
(64) 平成 30 年度事業計画（案）
(65) 平成 30 年度当初収支予算書（案）
(66) 平成 30 年度職能委員会委員補欠候補者について
(67) 平成 30 年度特別委員会委員候補者について
(68) 公益社団法人静岡県看護協会規程の改正（案）
(69) 訪問看護ステーション掛川職員の主任昇任について
(70)「看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援モデル事業」要綱変更について
(71) ナースシップシステム研修受講履歴管理（新機能）について
(72) 平成 30 年度静岡県看護協会定時総会講演会（案）
(73) 平成 30 年度行政機関・関係団体役員・委員について
(74) 平成 30 年度「社会貢献者表彰」・第 4 回「山上の光賞」候補者の推薦について

3　理事・監事一覧

役職	氏　名	所　属
会長	渡 邊 昌 子	公益社団法人静岡県看護協会
副〃	平 井 弘 美	個人
副〃	間 淵 元 子	静岡赤十字病院
専務	柏 崎 順 子	公益社団法人静岡県看護協会
常務	鈴 木 千 春	公益社団法人静岡県看護協会
〃	牧 野 明 美	公益社団法人静岡県看護協会
理事	渥 美 恵 子	個人
〃	西 郷 美 智 子	榛原総合病院
〃	松 本 志 保 子	すずかけヘルスケアホスピタル
〃	松 井 順 子	聖隷福祉事業団　法人本部
〃	若 杉 佐 知 子	共立蒲原総合病院
〃	正 木 晶 子	伊豆今井浜病院
〃	前 川 美 奈 子	熱海市役所
〃	佐 野 文 子	沼津市立病院
〃	髙 橋 ハ マ 子	湖山リハビリテーション病院
〃	櫻 井 郁 子	静岡県立こども病院

〃	平 野 一 美	藤枝市立総合病院
〃	八 木 純	中東遠総合医療センター
〃	鈴木恵美子	浜松労災病院
〃	松 浦 康 夫	社会福祉法人静岡県社会福祉協議会
〃	大 岩 茂 則	一般社団法人静岡県医師会
〃	廣 瀬 清 久	ときわ綜合法律事務所
監事	杉 山 茂 子	医療法人社団盈進会つどいのおか
〃	山 元 道 子	沼津市立看護専門学校
〃	小野田 武	税理士法人とうめい

Ⅱ　庶務報告

専務理事　柏崎順子

1　会員に関すること

（1）平成29年度会員数　20,349名

内　訳　（平成30年3月31日）

保健師　539名　助産師　767名

看護師 18,204名　准看護師　839名

（2）就業者数と入会率

県内就業者数　40,100名

協会入会率　50.7%

会員の内訳と前年比較

		保健師	助産師	看護師	准看護師	総 数
就業者数	H28	1,626	952	31,000	6,522	40,100
	H26	1,599	952	29,174	6,918	38,643
会員数	H29	539	767	18,204	839	20,349
	H28	555	770	17,980	907	20,212
入会率	H29	33.1%	80.5%	58.7%	12.8%	50.7%
	H28	34.1%	80.8%	58.0%	13.9%	50.4%

※就業者数は平成28年12月31日調査（静岡県医療従事者調査による）

2　運営に関する会議

（1）定時総会

日時　平成29年6月28日（火）

場所　グランシップ　中ホール大地

会員数　18,306 名

出席者数　440 名　委任状数 15,907 名

来賓

静 岡 県 理 事　鶴田憲一

静岡県病院協会会長　毛利　博

静岡県社会福祉協議会会長　神原啓文

静岡県看護連盟会長　内藤晴美

日本及び静岡県看護協会名誉会員　白松萬里子

特別講演会 14:30～

「今地域の中で看護職が出来ること、やるべきこと～人々がこの町で暮らしてよかったと思えるために～」

講師　惣万佳代子氏（NPO 法人デイサービス このゆびとーまれ理事長）

（2）地区支部長連絡会議

ア　第1回

日時　平成29年5月23日（火）

場所　静岡県看護協会　第2研修室

参加者　常任理事会役員・地区支部長等（計14名）

内容

・平成28年度地区支部「まちの保健室Ⅰ」「まちの保健室Ⅱ型」集計報告について

・平成28年度「看護の出前授業」報告

・地区支部運営にあたっての情報交換

イ　第2回

日時　平成29年12月19日（火）

場所　静岡県看護協会　第2研修室

参加者　常任理事会役員・地区支部長（計15名）

内容

・講演「静岡県における地域包括ケアシステム推進の取組と看護協会（地区支部）に期待すること」

講師　加藤克寿（静岡県福祉長寿局　長寿政策課　地域包括ケア推進班班長）

・地区支部長によるグループワーク

・テーマ「地区支部運営にあたって～地域包括ケア推進にどう取り組むか～」

・情報交換・意見交換

（3）地区支部会議

日時　平成29年7月25日（火）

場所　静岡県看護協会　第2研修室

参加者　地区支部長・地区支部事務員（計17名）

内容

・地区支部会計の手続きについて

・災害看護研修期間中の損害保険について

（4）役員・委員研修会

日時　平成29年7月25日（火）

場所　静岡県看護協会　第1研修室

参加者　常任理事会役員・地区理事・職能理事・各委員会委員・地区支部役員等（計142名）

内容

「静岡県看護協会の組織と役割」「委員会・地区支部の役割と活動」

渡邊昌子（静岡県看護協会　会長）

「静岡県看護協会の定款について」

村松　篤（静岡県看護協会　事務局長）

特別講演

テーマ「少子超高齢社会に対応するこれからの看護教育について」

講師　勝又浜子（日本看護協会 常任理事）

（5）医療・福祉施設等看護代表者会議

ア　第1回

日時　平成29年5月25 日（木）

場所　静岡県看護協会　第1研修室

参加者　医療・福祉施設等看護代表者・役員等（計164名）

内容

①静岡県看護協会の活動について

・看護の動向と静岡県看護協会の活動

・平成29年度教育計画について

・平成29年度事業部事業計画について

・平成29年度災害支援ナース登録状況

・各職能委員長から

・ナースセンターから

・平成29年度行事計画

・平成29年度定時総会委任状について

②講演

「医療と介護の連携について」

・地域医療構想と地域包括ケアシステム

・静岡県保健医療計画及び静岡県長寿者保健福祉計画の策定

講師　壁下敏弘（静岡県健康福祉部　理事）

イ　第2回

（ア）静岡会場

日時　平成30年1月16日（火）

場所　静岡県看護協会　第1研修室

参加者　医療・福祉施設等看護代表者・役員等（計107名）

（イ）三島会場

日時　平成30年1月18日（木）

場所　三島市民文化会館　大会議室

参加者　医療・福祉施設等看護代表者・役員等（計57名）

内容

①日本看護協会の動向について

②平成29年度重点事業の進捗状況・課題報告

・教育研修部関係

・事業部関係

・各職能委員会の取り組み

・ナースセンター事業

・平成29年度災害支援ナース派遣調整合同訓練報告

・看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援モデル事業中間報告

③平成30年度事業計画について

・事業計画　重点事項について

・教育計画について

（6）委員長・地区支部長合同会議

ア　第1回

日時　平成29年10月11日（水）

場所　静岡県看護協会　第1会議室

参加者　常任理事会役員・職能理事・委員会委員長・地区理事等（計27名）

内容

・平成30年度重点事項（案）について

・公益社団法人静岡県看護協会定款第4条の事業に合わせた事業細目と公益性について

・平成30年度事業計画立案及び予算について

イ　第2回

日時　平成29年12月12日（火）

場所　静岡県看護協会　第1会議室

参加者　常任理事会役員・職能理事・委員会委員長・地区理事等（計24名）

内容

・平成30年度委員会・地区支部事業計画と予算調書（案）について

（7）日本看護協会との連携に関する会議への出席

（42～43頁参照）

（8）社会参加・他機関との連携に関する会議への出席

ア　関連機関・他団体への委員会等就任

（43～45頁参照）

イ　関係機関・関係団体の会議等への出席

（45～46頁参照）

ウ　関係機関・関係団体への後援

（46～47頁参照）

3　公益社団法人静岡県看護協会規程の改正

（1）公益社団法人静岡県看護協会育児・介護休業等に関する規程

施行　　平成29年10月1日

（2）公益社団法人静岡県看護協会指定居宅介護支援事業所運営規程

施行　　平成29年10月24日

（3）公益社団法人静岡県看護協会就業規程

施行　　平成30年4月1日

（4）公益社団法人静岡県看護協会旅費規程

施行　　平成30年4月1日

（5）公益社団法人静岡県看護協会非常勤等職員就業及び給与規程

施行　　平成30年4月1日

（6）公益社団法人静岡県看護協会訪問看護ステーション非常勤職員就業及び給与規程

施行　　平成30年4月1日

（7）特別業績手当の支給に関する規程

施行　　平成30年4月1日

4　会員の表彰

（1）叙勲

平成29年春	瑞宝双光章	望 月 律 子
平成29年春	瑞宝単光章	青 木 和 惠
平成29年春	瑞宝単光章	山内みゆき

平成29年秋　瑞宝単光章　松井泰子

（2）平成29年度日本看護協会会長表彰

井手一子　古田里惠　酒井万美子
櫻井悦子　良知美佐子

（3）平成29年度静岡県看護協会会長表彰

安藤しのぶ　大川　香　大沼朱美
桑原弓枝　佐藤圭子　佐野ゆみ
管原清子　菅原早苗　鈴木ふみえ
鳥羽山睦子　林　恵子　宮城淑乃
竜﨑千明　渡邉浩美

5　災害支援ナースの登録

平成29年度災害支援ナース登録者数
個人登録者数：422名
（内訳：106施設　409名　個人　13名）
施設登録数：68施設（派遣可能人数286名）

6　新入会員研修

東部（1回）中部（4回）西部（2回）で開催
受講者　571名

7　看護補助者の活用推進のための看護管理者研修

日時　平成29年10月7日（土）9:20~16:00
場所　静岡県看護協会　第1研修室
受講者　119名

8　広報事業

（1）機関紙「看護しずおか」6回発行
（2）定時総会資料・教育計画の作成・配布
（3）平成29年度静岡県看護協会パンフレットの作成・配布
（4）日本看護協会関係
ア　協会ニュース、入会のしおり、平成29年度事業概要及び都道府県看護協会一覧、日本看護協会事業案内、忘れられない看護エピソード配布、日本看護学会学術集会等の案内
イ　中央における教育計画、会員バッジその他
（5）静岡県看護協会ホームページによる広報
（6）マスメディア等を通じて協会の事業の広報
（7）静岡県看護協会ロゴマークの活用

Ⅲ　教育研修部報告

常務理事　牧野明美

1　研修の実施

人材育成を促進するための継続教育を委員会と連携し実施した。年間を通し、44研修　68コースを157.5日開催し、3,403名が受講した。

（1）継続研修(一般研修)
ア　看護実践能力育成研修
9研修　16日　946名
イ　組織的役割遂行の育成研修
10研修　19日　529名
ウ「自己教育の推進」
1研修　1日　45名
エ「研究能力の育成」
3研修　9コース　9日　259名
オ　特別研修
（ア）トピックス研修 1研修　0.5日　55名
（イ）公開研修　2研修　8日　36名
カ　日本看護協会主催インターネット配信研修
4研修　8日　410名
キ　eラーニング研修　3研修　4コース135名

（2）資格認定教育
ア　認定看護管理者教育課程
（ア）「ファーストレベル」
27日　69名受講　69名修了
（イ）「セカンドレベル」
32日　33名受講　33名修了
公開研修　7日　28名
（ウ）「セカンドレベルフォローアップ研修」
1日　31名（H28年度ｾｶﾝﾄﾞﾚﾍﾞﾙ修了者）
イ　認定看護師教育課程「脳卒中リハビリテーション看護」
（ア）「脳卒中リハビリテーション看護フォローアップ研修」　1日　29名
（イ）「日本看護協会が行う特定行為研修について」
（臨時開催　1研修　1.5H　64名）

（3）静岡県からの受託研修
ア　新人看護職員研修　6コース10日 延べ312名
全コース参加39名,公開講座7コース75名
イ　新人看護職員指導者研修　5日
「新人看護職員研修責任者研修」14名
「新人看護職員教育担当者・実地指導者研修」87名
ウ 静岡県専任教員養成講習会　855時間
35名受講　33名修了　1名中止　1名未修了
エ　静岡県看護職員等実習指導者講習会
【特定分野】7日 24名受講 23名修了 1名未修了
オ　看護教員継続研修 3日　34名
トピックス研修　1日　111名
カ「重症心身障害児(者)対応看護従事者研修」
1日＋1日（実習）　70名

2　看護研究の推進

（1）第6回静岡県看護学会　平成30年1月20日（土）
テーマ「感じよう！語ろう！看護の魅力」
研究発表23題、基調講演、シンポジウム
参加者　351名
（2）学術研究振興支援
ア　研究助成金　申請0件
イ　研究倫理審査

研究倫理審査委員会　開催なし

（3）第49回（平成30年度）日本看護学会－慢性期看護－学術集会　開催準備

平成30年9月27日（木）、28日（金）

テーマ“私”の声を紡ぐ　慢性期看護の創造～輝いて生きる～

学術運営委員会開催：11回

3　資格認定教育の運営

（1）認定看護管理者教育課程（各教育課程）

ア　受講審査による受講者決定と修了認定

（2）認定看護師教育課程「脳卒中リハビリテーション看護」

ア　平成30年3月に日本看護協会認定看護管理者教育機関に閉講申請書を提出

イ　脳卒中リハビリテーション看護フォローアップ研修は継続

4　平成30年度研修計画

教育計画の枠組みは前年度を継続したが、看護実践能力育成研修は「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」のレベルに対応した研修であることを表示した

5　研修講師の紹介

3件の依頼相談に応じた

Ⅳ　事業部報告

常務理事　鈴木千春

1　看護職の労働条件・労働環境改善事業

（1）看護師の賃金モデル事業

日本看護協会主催「看護職の賃金モデル導入支援者研修」（東海・北陸地区）

「病院で働く看護職の賃金のあり方」に対する日本看護協会の方針を普及させる周知活動及び､病院に対する助言･指導を担う人材を養成することを目的としている。

日時　平成30年1月25日（木）13:00～17:00

26日（金）10:00～16:00

場所　静岡県看護協会

参加者　25名（静岡県14名）

内容

第1部

①看護職の賃金制度の現状

講師　吉村浩美（社会福祉法人聖隷福祉事業団　高齢者公益事業部　浜名湖エデンの園副園長）

②事例発表　類似モデル導入事例

講師　辻村耕治（地方独立行政法人大阪市民病院機構　法人運営本部総務課長）

第2部　賃金・人事評価制度

講師　奥村元子（日本看護協会労働政策部専門職）

第3部　賃金の把握、賃金表の作成

講師　福島紀夫（東京都社会保険労務士会）

第4部　多様な人材を確保・活用するための賃金処遇

講師　奥村元子（日本看護協会労働政策部専門職）

（2）労務管理研修

国の進める「働き方改革・休み方改革」、日本看護協会の進める「看護職の労働環境の整備の推進」を理解し、労働環境改善への取組みに役立てる。また、人事労務管理上の問題となる法的根拠を理解し、看護管理の知識を獲得し看護管理実践に役立てる。

日時 平成30年2月7日（水）9:20～16:30

場所 静岡県看護協会

参加者 85名

ア 講義　看護管理者として準備しておきたい「働き方改革・休み方改革」～多様な人材を確保・活用をめざす～

講師　熊谷雅美（日本看護協会常任理事）

イ 講義　医療機関の労務管理

講師　渡辺　徹(名古屋第一赤十字病院医療社会事業部　地域医療連携推進課長兼管理局経理部長職務代理)

2　訪問看護・指定居宅介護支援事業

（1）訪問看護事業

ア　利用者の生活の質を重視した適切な訪問看護を、24時間対応体制で提供

イ　市町、地域の医療・保健・福祉、介護サービス事業所との連携により利用者サービスの充実、向上への取組み

ウ　利用者満足度調査の実施による自訪問看護サービスの評価

エ　看護学生・病院看護師等の実習受入れと指導

オ　施設内外研修の参加による人材育成と看護の質の向上

カ　講師等の派遣

キ　地域連携事業

ク　実績

訪問看護利用者数延　7,015名

訪問看護件数延　34,402件

（2）指定居宅介護支援事業

ア　利用者の自立支援に根差したケアプランの作成と利用者家族への支援

イ　利用者満足度調査の実施による自居宅介護支援の評価

ウ　地域包括支援センター等関連機関との連携、

会議等の出席
エ　実績
ケアプラン数　1,518 件
（3）諸会議の開催
ア　訪問看護ステーション所長連絡会議　3 回
イ　訪問看護ステーション事業経営会議　4 回
（4）訪問看護ステーション職員合同研修の実施
「いきいきと健康でケアを提供できる自分づくり」
日時　平成 29 年 4 月 22 日(土)　9:30～12:30
場所　静岡県看護協会
参加者　43 名
講義　「私が歩んだ看護～そして今後のステーションへの期待」
講師　望月律子（静岡県看護協会　会長）
講義　「よりよく眠る方法を学びます」
講師　田森雄治（東洋羽毛東海販売㈱　睡眠健康指導士）

3　訪問看護師養成講習会

日本訪問看護財団の「訪問看護 e ラーニング」の受講及び、当協会企画の講義・演習、訪問看護ステーション実習により、在宅看護に必要な基礎的知識と技術を習得し、質の高い在宅ケアの提供に資することを目的としている。

（1）訪問看護師養成講習会（e ラーニングを活用した訪問看護研修ステップ 1）
期間　平成 29 年 7 月 26 日（水）から
平成 30 年 2 月 1 日（木）
修了者 36 名
ア　開講式開催　集合研修Ⅰ
平成 29 年 7 月 26 日（水）9:30～16:30
講義　「訪問看護ステーションの現状と 2025 年に向けての訪問看護のあり方」」
講師　上野桂子（聖隷福祉事業団法人本部監事）
イ　集合研修Ⅱ
平成 29 年 9 月 1 日（金）9:30～16:30
講義　「呼吸リハビリテーション理解に必要な基礎知識」
講師　秋田剛史(静岡県立総合病院　呼吸器内科医長)
講義「呼吸リハビリテーションの理論と実際」
講師　石井雄一朗（静岡県立総合病院　リハビリテーション科　主任理学療法士）
講義　「在宅における呼吸リハビリテーション」
講師　山下敏寛(介護老人保健施設はるかぜ　理学療法士)
ウ　集合研修Ⅲ
平成 29 年 10 月 5 日（木）9:30～16:30
講義「要介護高齢者に対する口腔ケア」
講師　田中直美(浜松市リハビリテーション病院　摂食・嚥下障害看護認定看護師)
江間沙記（浜松医療センター　摂食・嚥下障害看護認定看護師）
エ　閉講式開催　集合研修Ⅳ
平成 30 年 2 月 1 日（木）9:30～16:30
講義　「在宅看護における看取り」
講師　野崎加世子（岐阜県看護協会立訪問看護ステーション高山管理者　訪問看護認定看護師）
講義　「静岡県の訪問看護の現状」
講師　赤堀奈緒子（静岡県看護協会立訪問看護ステーション掛川所長　訪問看護認定看護師）
聴講者　1 名
オ　訪問看護ステーション実習　2 日間
カ　修了レポート

4　静岡県看護協会・静岡県訪問看護ステーション協議会連携会議

（1）第 1 回
日時　平成 29 年 7 月 19 日（水）
場所　静岡県看護協会　第 1 会議室
参加者　看護協会常任理事会役員・職能理事・地区理事等（計 18 名）訪問看護ステーション協議会理事会役員等（計 14 名）
内容
・静岡県看護協会・静岡県訪問看護ステーション協議会連携会議の設置要領について
・情報提供「在宅見守り支援システムについて」ニプロ株式会社
・地域における課題の共有
（2）第 2 回
日時　平成 30 年 3 月 1 日（木）
場所　静岡県看護協会　第 1 研修室
参加者　看護協会常任理事会役員・職能理事・地区理事等（計 12 名）訪問看護ステーション協議会理事会役員等（計 13 名）
内容
・講演　住民の健康を支える
～健診データ分析等から～
講師　小嶋由美（静岡県医療健康局　健康増進課課長）
・「地域医療・在宅における課題と対応～連携の推進に向けて～」についてグループワーク

5　医療・看護安全相談

会員・非会員の看護職や県民等を対象に医療・看護の安全に係る相談等に対応し助言、情報提供を行った。

（1）平成 29 年度の相談状況
・相談対応者　常勤 理事等
・相談対応日　月曜日～金曜日（9:00～17:00）

・相談者　　29 名
・相談件数　30 件

6　静岡県からの受託事業

（1）ナースセンター事業

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、静岡県より委託を受け実施している事業である。

ア　ナースバンク事業

・看護職の求職相談・医療機関等からの求人相談
・再就業移動相談：ハローワーク御殿場・沼津・富士・三島・下田・静岡・清水・焼津・島田・掛川・浜松・磐田・浜北・細江にて相談実施
・ナースセンター・ハローワーク連携事業による再就業支援の実施（ナースセンターとハローワークからの支援を求める求職者に対して両機関が連携して就業支援を行う）
・ハローワーク連携事業連絡調整会議の開催
平成 29 年 6 月 7 日(水)、12 月 18 日(月)
・遠隔地相談窓口として東部・西部に下田相談所、天竜相談所を運用
・看護職離職時等の届出制度（施設一括代行届出の推進）の運用
・求人施設訪問
・静岡県看護職員確保対策連絡協議会の開催
第 1 回平成 29 年 8 月 3 日(木)
第 2 回平成 30 年 2 月 15 日(木)

イ　潜在看護師再就業支援事業

・再就業準備講習会
・看護職員介護施設等再就業研修
・病院・訪問看護ステーション派遣型再就業研修
・東部・中部・西部において看護技術演習
・県外における看護学生等 UI ターン促進セミナー参加（静岡まるごと移住フェア　東京交通会館　平成 30 年 1 月 28 日(日)）
・県外大学訪問（近隣県 4 大学）
・地域でつくる協働開催型就業相談会(9 回開催)

ウ「看護の心」普及啓発事業

・「看護の日・週間」記念行事
・ふれあい看護体験
・高校生 1 日ナース体験
・看護の出前授業
・看護職こころざし育成セミナー
・高校生等を対象とした看護学校等進路説明・相談会

エ　離職防止対策事業

・悩みごと相談窓口業務
・セカンドキャリアセミナー
・再就業者フォローアップ研修
・退職者調査（施設・個人）
・「新人看護職員研修」（再掲）
・新人看護職員指導者研修「責任者研修」「教育担当者研修」「実地指導者研修」（再掲）
・新人教育に関する相談及び助言指導
・新人及び再就業者等に対する基礎看護技術演習（採血等）

オ　ナースセンター連絡会議の開催

カ　看護職員確保のための諸会議への参画

キ　広報活動

・市町広報誌等への掲載
・ナースセンター　ホームページの更新
・「看護しずおか」への掲載
・「ナースセンターだより プラス」年 3 回発行
・マスコミへの情報提供
・リーフレット等の配布
・看護学生を対象としたナースセンター紹介リーフレット作成・配布
・メールマガジンの配信
・県内高校 2 年生を対象とした職業図鑑を利用

（2）高齢者権利擁護等推進研修－看護実践者－（資料編参照）

介護施設等の看護職員を対象に、高齢者が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援し、権利擁護に必要な援助等を行うための実践的な知識・技術を習得する。

実施日数　2 日
受講者　　42 名

（3）看護職員管理者の相互研修（資料編参照）
－暮らしをつなげる看護職員のための研修－

院内、在宅（地域）の看護職に対し、その人の暮らしをつなげる看護を提供するマネジメント能力の育成を図る。

実施日数　4 日間（実習を含む）
受講者　　85 名

（4）看護の質向上促進研修（資料編参照）

研修機会の少ない中小規模病院や診療所、福祉施設等に勤務する看護職員に対して医療安全等に関わる知識や技術を修得する機会を提供し、看護の質の向上を図る。

ア　中小規模施設等看護職対象

開催地区　伊豆・東部・中部・西部地区
実施日数　1 日
受講者　　274 名

イ　診療所看護職対象

開催地区　伊豆・東部・中部・西部
実施日数　半日×2 回
受講者　　247 名

（5）看護職員認知症対応力向上研修－認知症ケア体制構築推進者研修－（資料編参照）

病院内看護職員に対し、入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知

症の特徴等に対する実践的な対応力を修得し、同じ医療機関等の看護職員に対し伝達をすることで、医療機関内等での認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制の構築を図る。

実施日数　3 日間

受講者　　65 名

7　看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援モデル事業

目的　領域が異なる看護職どうしが地域包括支援の一翼を担い、地域における顔の見える関係構築、地域における看護職や関係者のネットワークの基盤づくりを行う。

期間　助成金交付決定日～翌年 2 月末日

（1）参加　5 モデル地域・名称

・駿東田方 2 次医療圏域

名称　ここいきサポートネットワーク

・静岡市駿河区内圏域

名称　I　LOVE 看と看をつなぐするが

・藤枝市内圏域

名称　藤の花かんかんネット

・浜松市南区芳川日常生活圏域

名称　遠州の道標

・浜松市東区圏域

名称　糖尿病 de つながるナース支え隊

（2）キックオフの会

日時　平成 29 年 5 月 16 日(火)13:00～17:00

場所　静岡県看護協会

参加者 46 名

ア　講義「地域包括ケア推進支援モデル事業に託す看護協会の期待」

講師　望月律子（静岡県看護協会　会長）

実践報告「つながる会の立ち上げから現在に至るまでの取組みとこれからの展望」

報告者　松本志保子（すずかけヘルスケアホスピタル　看護部長）

イ　ワークショップ

（3）「看看連携を基盤とした地域包括ケア推進中間報告」

於　医療・福祉施設等看護代表者会議

日時　平成 30 年 1 月 16 日(火)13:00～16:30

場所　静岡県看護協会

発表　・藤の花かんかんネット

・遠州の道標

・糖尿病 de つながるナース支え隊

日時　平成 30 年 1 月 18 日(木)13:00～17:00

場所　三島市民文化会館

発表　・ここいきサポートネットワーク

・I　LOVE 看と看をつなぐするが

（4）モデル地域ネットワークへの視察　7 回

8　日本看護協会「平成 29 年度都道府県看護協会地区支部等における高齢者および認知症者支援のための看護職連携構築モデル事業」

静岡県看護協会が受託し、社会福祉法人聖隷福祉事業団　総合病院聖隷三方原病院に委託。

対象地区　浜松市北区・天竜区

目的　看護・介護地域連携会議を置き、北区・天竜区における病院と在宅医療・介護関係者が協働したケアの実践。

9　ケアする人のケア

介護に携わっている人は、常に感情のコントロールが求められるため、心身の疲労が蓄積されやすい状況にある。自宅で介護する方法や医療・福祉施設で働く看護・介護職が、元気に自信を持って対象者に関わり、より良いケアにつながるようリフレッシュ及び情報提供の場を提供する。

（1）訪問看護ステーションいわた「いわたキッズと親の交流会」

日時　平成 29 年 6 月 10 日（土）9:30～11:30

場所　磐田市南交流センター

参加者　36 名（小児、家族、保育園園長 1 名、磐田市議会議員 1 名等）

内容　手遊び歌、絵本の読み聞かせ、父母交流会

（2）訪問看護ステーション清水「さくらばしサロン」

日時　平成 29 年 11 月 16 日（木）13:30～15:00

場所　訪問看護ステーション清水事業所内

参加者　10 名（介護者、遺族）

内容　参加者からの語り、疲労回復に役立つ情報、ハンドトリートメント

（3）訪問看護ステーション掛川　遺族会「スイートピーの会」

日時　平成 29 年 11 月 11 日（土）13:30～15:30

場所　掛川市東部地域健康医療支援センターふくしあ 2F ホール

参加者　19 名（遺族、関係者）

内容　自己紹介、おしゃべり会、レクリエーション、記念撮影

（4）訪問看護ステーション大東「家族交流会」

日時　平成 29 年 12 月 9 日（土）10:00～11:30

場所　掛川市大東市民交流センター

参加者　9 名（利用者及び家族）

内容　講話「食べたの話し」、座談会

10　関連機関主催事業参加

（1）しずおか元気応援フェア 2017

日時　平成 29 年 10 月 7 日（土）8 日（日）10:00～16:30

場所　ツインメッセ静岡　北館

内容　「まちの保健室」開設

来場者数 延358名
（2）男女共同参画の日　県民フェスティバル
あざれあメッセ2017
日時　平成29年10月28日（土）10:00～15:00
場所　静岡県男女共同参画センターあざれあ
内容　「まちの保健室」開設
来場者数 延322名
（3）ふじのくにケアフェスタ2017
日時　平成29年9月16日（土）10:00～16:30
場所　ツインメッセ静岡　北館
内容　「まちの保健室」開設
看護職の仕事紹介・就業相談
来場者数　延35名

Ⅴ　委員会報告

職能委員会

（Ⅰ）保健師職能委員会

委員長　渥美恵子

1　活動目標
（1）地域における保健師活動指針の活用を推進する。
（2）地域包括ケアシステム推進に向けた看護職連携を図る。
（3）職域間の保健師の連携強化
（4）会員拡大の推進

2　委員会開催　11回

3　活動内容
（1）職能集会
日時　平成29年9月9日（土）13:30～16:30
会場　静岡県看護協会第1研修室
参加者　89名
内容
・保健師職能委員会の活動報告
・講演「糖尿病性腎症の重症化予防を目指した保健指導」
講師　熊谷裕通（静岡県立大学食品栄養科学部教授）
・講演「指導困難な対象者への効果的な栄養指導」
講師　管理栄養士　増田姫誉美
（2）研修会
日時　平成30年1月20日（土）13:30～16:30
会場　静岡県看護協会　第1研修室
参加者　48名
内容
・講演「しずおかまるごと健康経営」
講師　静岡県健康福祉部理事　土屋厚子
・講演「ネウボラから学ぶ～フィンランドの切れ目のない子育て支援～」
講師　井上知香（常葉大学短期大学部保育科講師）
（3）会員拡大の取り組み
職能集会等での入会勧奨により、会員獲得に取り組んだ。
（4）その他の活動に参加
ア　しずおか元気応援フェア 2017「まちの保健室」健康相談

4　今後の課題
保健師業務が細分化されている内、地域包括ケアシステム推進のために、個別対応の力を高め、子どもや高齢者、障がい者も含め地域に責任を持った活動ができるための研修を企画する必要がある。また、次年度は、保健活動に反映させることができる同様の研修や保健師のキャリア形成の推進について検討していく。

5　委員　7名
（保）吉田和子　深田裕子　野崎敦子　鈴鹿和子
鈴木圭美　中村その子
（担当理事）渥美恵子

（Ⅱ）助産師職能委員会

委員長　西郷美智子

1　活動目標
（1）全ての妊産褥婦・新生児及びすべてのライフステージの女性に助産師のケアを提供するために、専門的技術力を高め、より質の高いサービスの提供を支援する。
（2）市民への広報やイベントを通して助産師の地域における活動の周知を図る。

2　委員会開催　12回　小委員会1回

3　活動内容
（1）助産実践能力強化研修会
テーマ『周産期領域での倫理的課題』
講師：静岡県立大学　太田尚子教授
日時　平成29年7月22日（土）9:30～12:30
場所　静岡県看護協会　第1会議室
参加者　25名
内容
CLoCMiP レベルⅢ認証申請に必要なスキルアップ研修
・助産師のコア・コンピテンシー
・生命倫理を考える上での原理
・倫理の基盤となっている概念
・ケアリングと女性中心のケア
・助産師の倫理綱領
・周産期における倫理的問題

・障害新生児のケースから生命倫理を考える

（2）いいお産の日

テーマ　『支え合ういのち～大切なわたし、大切なあなた～』

日時　平成29年11月18日（土）10:00～16:00

場所　アピタ静岡店　　イーストコート

参加者　200名

内容

・助産師活動写真　・助産師の変遷

・育児相談コーナー・妊婦体験、

・お昼寝アート・赤ちゃん抱っこ体験、

・リーフレット、風船、ポケットティッシュ等、PRグッズの配布200個

（3）新人助産師研修会

テーマ　『助産師の仲間作りをしよう』

日時　平成30年1月17日（水）10:00～16:30

場所　静岡県看護協会　第1会議室

参加者　24名

内容

・新人助産師への期待（キャリアパスを描こう・ポートフォリオ）

講師　神谷瀧子（静岡医療科学専門大学校）

・周産期の倫理の考え方

講師　爪田久美子（聖隷浜松病院母性専門看護師）

・先輩助産師活動報告

・グループワーク「講義を聴いて感じたこと、これからの自分について」

・意見交換と発表

（4）助産師職能集会

テーマ『分娩施設における災害対策』

日時　平成30年2月10日（土）　10:00～12:00

場所　静岡県看護協会　第1会議室

参加者　30名

内容

・静岡県における災害医療体制について

講師　奈良雅文（静岡県健康福祉部医療健康局技監）

・災害時の地域における助産師の活動

講師　稲葉由子（静岡県助産師会災害支援助産師）

・病院における周産期災害医療の課題

講師　杉村千春（藤枝市立総合病院看護師長）

4　今後の課題

日本看護協会では、「2025年に向けた看護の挑戦看護の将来ビジョンにおいて、いのち・くらし・尊厳をまもり支える看護として地域包括ケアは療養する高齢者だけではなく、子どもを生み育てる人々、子どもたち、障害のある人々を含むすべての人々の生活を地域で支えるものであるとしている。子育て世代包括ケアシステムとして、妊娠期からの切れ目のない母子育児支援①子供への虐待予防　②3つの質問票の活用　③産後ケアの3項目に対応できる能力の向上と安全安心な出産環境の体制整備に取り組んでいくことが課題となる。地域においては助産師に必須のコア・コンピテンシーとしてのウイメンズヘルスケア能力の実践が求められる。委員会では助産師が主体的に役割発揮できるような知識技術の習得ができる研修等を開催していく予定である。

5　委員　6名

（助）杉村千春　梅田奈智加　永井 梓　勝又理恵　鈴木早苗　花田澄美

（担当理事）西郷美智子

（Ⅲ）看護師職能委員会Ⅰ

委員長　松本志保子

1　活動目標

（1）変化する医療提供体制に応じた看護師長の担う役割を考える

（2）病院、施設、在宅の看看連携強化推進

（3）准看護師のスキルアップと進学にむけた支援

2　委員会開催　11回

3　活動内容

（1）准看護師研修会と進学支援

事業の概要：日常のケアで多く携わることがある「スキンケア」は個人のスキルによって提供されるケアにおける質の差が懸念される。そこで、「おしりにやさしいスキンケア」をテーマとした講義および、「おむつの正しいあて方」を演習で学ぶこととした。また進学にむけた継続的な支援を行うことを目的とした。

日時　平成29年8月5日（土）10:00～16:00

場所　静岡県看護協会　第1研修室

参加者　57名

内容

・准看護師の動向

・講義テーマ「おしりにやさしいスキンケア」

・演習「おむつの正しいあて方」

講師：山本利恵子（市立島田市民病院皮膚排泄ケア認定看護師）

・学校説明会、個別相談

学校法人安西学園弥冨看護学校

神戸常盤大学短期大学部看護学科通信制課程

東京衛生学園専門学校

県立東部看護専門学校

豊橋市立看護専門学校　以上5校参加

評価　アンケート結果（資料編参照）

（2）看護師長交流会

事業の概要：看護師長の役割が多様化、多重化する中で改めて役割を考える。
日時　平成29年12月9日（土）9:45～16:00
場所　静岡県看護協会　第1研修室
参加者　74名
内容
・講演　テーマ「ポジティブマネジメントの第一歩」
講師　市瀬博基（東京外国語大学非常勤講師）
・ワールドカフェ
テーマ「人材育成～原石の磨き方～」「多様化したWLBの光と影への対応」「多職種連携における看護師長の交渉術」「困難を乗り越えるための看護師長のセルフマネジメント」
評価　アンケート結果（資料編参照）
静岡県看護協会ホームページへ掲載

（3）看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同交流会
事業の概要：生活者として患者がその人らしく生きぬくことを支えるためには、地域と病院領域の看護職の協働が求められる。そのため、病院と在宅・介護施設の看護師が合同で情報共有し学び合うことを目的とした。
日時　平成30年2月24日（土）9:45～16:00
場所　静岡県看護協会　　第1研修室
参加者　113名
内容
・講演　テーマ「患者・家族のゆれる心に気づき、それを支える看護」
講師 角田直枝(茨城県立中央病院　茨城県地域がんセンター看護局長　がん看護専門看護師)
・自宅での看取りを経験した家族をまじえたシンポジウム
・事例検討　(病院領域・在宅領域から各1事例提供)
テーマ「生活者としての患者・家族のゆれる思いを共有する」
評価　アンケート結果（資料編参照）

4　今後の課題
（1）地域別の看護師長のネットワーク作りを支援し職場を越えた看護の質向上を図る
（2）病院、施設、在宅の看看連携の強化
（3）准看護師のスキルアップと進学にむけた支援

5　委員　6名
(看) 山内恭子　鈴木千里　杉山久美子　中野悦代
河野由佳子　中野美起子
(担当理事) 松本志保子

（Ⅳ）看護師職能委員会Ⅱ

委員長　松井順子

1　活動目標
（1）病院と施設・在宅の看看連携の強化を図る
（2）施設・在宅における看護師同志のさらなる連携を強化する
（3）地区ごとの施設看護管理者のネットワーク作りをし、施設における看護の質の向上を図る
（4）看護師職能Ⅱの会員を増やし、組織力を強化する

2　委員会開催　12回

3　平成29年度事業内容
（1）地区別施設看護管理者交流会
共通テーマ「その人らしさを尊重した看取りを行うために施設看護師にできること」
・東部：順天堂大学保健看護学部
10月7日（土）　参加者　35名
・西部：アクトシティ浜松研修交流センター
11月4日（土）　参加者　72名
・中部：静岡県看護協会第一研修室
12月2日（土）　参加者　89名
合計　196名
（2）看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同職能交流会
・平成30年2月24日（土）
静岡県看護協会第1・2研修室
テーマ「最期まで生きぬくことを支える看看共有」
～患者・家族のゆれる心に気づく～
・参加者　113名
（3）特別養護老人ホームネットワークつくりの施設見学研修会
・平成30年3月22日（木）参加者　19名
特別養護老人ホームぬまづホーム、特別養護老人ホーム伊豆テラスの取り組み報告会及び施設見学会
（4）看護師職能委員会Ⅱの活動PRのためのパンフレットを作成し、看護協会入会案内と合わせて交流会等で配布して説明、看護師職能Ⅱの活動PRを行った。

4　今後の課題
（1）地区別施設看護管理者のネットワーク作りに焦点をあて、研修交流会や施設見学会を行った。地区別で行うことの効果は高く、地域包括ケアシステムの推進には地域の連携は欠かせないと考えている。今後は、「顔が見え、情報共有・相談できる関係」へと実際の地域作りに効果的なネットワーク作りが構築できるような活動をしていきたい。
（2）看護師職能Ⅰ・Ⅱの合同職能交流会は、病院・

在宅・施設看護の相互の業務・役割、それぞれにできること、限界などを理解し合う機会として有効的であり、さらなる看看連携を進めることができると考えている。次年度は、研修会、委員会活動も含め、合同開催を多くしていきたい。

5　委員　6名
（看）星ともこ　榎本佳子　片岡由里　鈴木京子
　　戸田美也子　成岡桂子
（担当理事）　松井順子

推薦委員会

委員長　遠藤さよ子

1　活動目標
　静岡県看護協会の理念の実現に向け、役員等の改選に伴う選挙の執行、日本看護協会総会代議員・予備代議員選出等に当たり、透明性及び公平性を確保するとともに候補者の人権を尊重し、立候補の届け出を考慮したうえで、活力ある組織作りを目指して、開かれた公平かつ公正な推薦を行う。

2　委員会開催　4回

3　活動内容
（1）公益社団法人日本看護協会代議員及び予備代議員の選出に関する推薦委員会内規と静岡県看護協会の定款・細則等の規程に基づく推薦委員会マニュアル、所掌範囲の確認と次年度の推薦に向けて情報交換
（2）平成31年度日本看護協会通常総会代議員・予備代議員の推薦
（3）平成30年度保健師職能理事の推薦

4　今後の課題
　日本看護協会通常総会代議員について、一般会員への関心を高める企画と実践、定款、細則に則った代議員の選出
　理事会が行う役員の推薦業務と推薦委員会が行う推薦業務について密接な連携を取りながら進める

5　委員　8名
（保）三輪眞知子　平野幸子
（助）諸星浩美　遠藤さよ子
（看）田中万里子　江口洋子　小林貴子　太田優子
（担当理事）柏崎順子

委　員　会

（Ⅰ）教育委員会

委員長　鈴木美恵子

1　活動目標
（1）研修の目的を理解し、受講者の目的達成のために支援する
（2）研修結果から受講者のニーズと企画意図を分析・評価する
（3）研修ニーズを調査し、臨床現場で看護職に求められる知識・技術・態度を教育計画に反映させる
（4）医療・看護の情勢や動向および前年度の研修評価を踏まえ、研修を企画する
（5）一般研修で得られたデータや資料を今後の教育計画に繋げる

2　委員会開催　11回
　研修開催　　20研修　29.5日間

3　活動内容
（1）教育研修の企画・運営
　一般研修では体験型・参加型学習により問題解決能力や対人関係能力等を高め、現場で応用できる研修を企画した。新たに医療安全管理者養成研修はｅラーニングを導入し、いつでもどこでも効果的な学習に取り組んだ。
　ア　看護実践能力の育成
・看護倫理の考え方-みんなで考える倫理問題-　11/9、11/10
・看護理論の実践への適用ーヘンダーソンの理論を用いてー8/15、8/21
・知っておきたい認知症ケアの基本　6/26
・事例で学ぶフィジカルアセスメント　10/12
・糖尿病重症化予防のための食事指導　12/6
・脳卒中リハビリテーション看護ー回復期・生活期を変える急性期ケアーH30/1/8
・一般病棟におけるがん化学療法の看護 5/24
・周手術期の看護ー手術を受ける患者・家族のQOLを高めるー　5/17
　イ　組織的役割遂行能力の育成
・感染管理ー感染予防リンクナース編ー　8/25、8/26
・感染管理ーマネジメント編ー　10/18
・ｅラーニングで学ぶ医療安全管理者養成研修
　ｅラーニング受講期間 9/1～H30/2/10
　集合研修２回　10/11、2/10
・リーダー研修ーコミュニケーションスキルを高める-　7/4
・リーダー研修ー中堅看護師としてのリーダーシップー　8/28
・リーダー研修ー質的統合法（KJ法）を用いた組織の問題解決技法ー　9/19、9/20、12/1
・ナラティヴ・アプローチー看護を語る風土を作るー10/21・10/22、11/25、12/18、H30/1/27
・人材育成を担うリーダーの育成強化-グループ

ワークを取り入れた参加型研修の進め方ー
9/12、12/8
・看護師クリニカルラダーー自施設のクリニカルラダーを考えるー　5/30、11/28
・その人らしさを尊重した看取りを行うために施設ナースにできること　8/31
ウ　自己教育の推進
・小論文・レポートの書き方講座　H30/2/21
エ　特別研修
・トピックスーお坊さんに学ぶ長生きの練習ー
6/14
オ　公開講座 10/21
・ナラティヴ・アプローチーシンポジウムー
（2）研修後の評価
20 コース 29.5 日間の研修で応募者 1,387 名、受講者 1,224 名（内会員 1,164 名、非会員参加者 60 名）、参加率 98%、聴講者 8 名
（3）広報活動
・「看護しずおか」で特集として、認知症ケア研修（平成 29 年度 Vol.3）、クリニカルラダー(平成 30 年度 Vol.1)を掲載し内容の理解を図った。

4　今後の課題
（1）看護師だけでなく、保健師、助産師の関心が高い研修企画を検討し、受講者の拡大を図る。
（2）アンケート結果より、企画や研修内容は満足度、研修評価は高い。総合的な研修ニーズは得られていると捉えるが、少数の意見も反映して受講者の目的達成に効果的に支援できるように取り組んでいく。
（3）委員会として、研修活動実績を研究活動へと繋げて教育委員会活動の質の向上に取り組む。

5　委員　8 名
（助）小林美和子
（看）鈴木美恵子　海野智未　石川芳子　下山美穂
本家淳子　増田良江　三井景子
（担当理事）牧野明美

（Ⅱ）広報委員会

委員長　稲葉やす子

1　活動目標
会員及び一般県民への協会活動の周知と会員相互の情報交換を推進する。

2　委員会開催　12 回

3　活動内容
（1）「看護しずおか」の発行
広報誌「看護しずおか」では、特集として地域包括ケアシステムの推進のために「地域包括ケア病棟」を紹介した。高齢化に伴い認知症患者が増加している現状を踏まえ、看護実践能力の育成研修「知っておきたい認知症ケアの基本」を掲載した。また、就職２年目の看護師、看護職の夫婦、戌年生まれの看護師等の紹介や 4 職能委員会活動報告、地区支部活動報告等、より多くの会員の顔や声が読者に届くように特集を組んだ。
「活躍する認定看護師」はシリーズ化し、取材による「先人に聞く忘れられない看護」の連載、様々な方面で活躍する看護職を紹介する「お仕事拝見」等看護職の活躍を紹介し、紙面の充実に努めた。
（2）モニター活動
各職能委員会より推薦されたモニター11 人から「看護しずおか」各号に対する意見をアンケートにより聞いた。
また、モニター会議（平成 29 年 8 月 4 日）では、ピースデザイン代表 遠藤次朗氏による講話「デザイナーでなくてもデザインはできる！～紙面作りの 4 つの基本～」と意見交換を行った。

4　今後の課題
協会活動や看護・医療の情報提供の充実を図ると共に、幅広い方々の意見を聞き、興味深く読みやすい紙面作りに努めていきたい。

5　委員　7 名
（保）稲葉やす子　杉山眞澄
（助）伊藤葉子　松前勝美
（看）尾田直美　平野通乃　村上香奈子
（担当理事）柏崎順子

（Ⅲ）災害看護対策委員会

委員長　鈴木ひろみ

1　活動目標
（1）災害対策に関する意識の啓発を図り災害支援に関する事業を推進する。
ア　災害支援ナースの育成事業の実施及び構築をする。
イ　地区支部と協力し、恒常的に地域住民に対し減災の啓発および支援を推進する。
ウ　会員に対して、災害に関する意識の啓発を図る。

2　委員会開催　9 回

3　活動内容
（1）災害支援ナース登録者研修
日時　平成 29 年 8 月 31 日（木）13:30～16:30
場所　静岡グランシップ
参加者　354 名
内容

・災害支援ナース登録者の心構え
・「災害支援ナース登録者研修」アンケート結果の報告
講師　鈴木ひろみ（災害看護対策委員長）
「放射線の基礎知識と福島原発事故対応の課題」
講師　安井清孝（福島県立医科大学）

（2）災害看護一般研修Ⅰ
日時　平成29年11月7日（火）13:30～16:40
場所　静岡県看護協会第1研修室
参加者　54名
内容
災害の基礎知識　クロスロード
講師　川田祥乃（静岡県中部危機管理局主査）
望月俊明（コミュニティホスピタル甲賀病院　救急看護認定看護師）

（3）災害支援ナース育成研修
日時　平成30年1月28日（日）～30日（火）
場所　静岡県看護協会第1研修室
参加者　63名
内容　災害看護の基本・こころのケア・机上シミュレーション・避難所体験
チームビルディング・クロスロード・非常食の試食
講師　山﨑達枝（東京医科大学医学部看護学科兼任准教授）

（4）災害看護一般研修Ⅱ
日時　平成30年3月9日（金）13:30～16:45
場所　静岡県看護協会第1研修室
参加者　30名
内容
災害時の初期対応とロジスティックス
講師　高桑大介（日本赤十字社東京都支部事業部長）

4　今後の課題
（1）災害看護一般研修Ⅰ・Ⅱの参加者を増やす
（2）災害支援ナース登録条件の見直し
（3）災害受援マニュアルの作成

5　委員　6名
（看）鈴木ひろみ　春日三千代　牧野仁美　池谷綾子
勝間田敏宏　野邊あゆみ
（担当理事）柏崎順子

（Ⅳ）働き続けられる職場づくり推進委員会

委員長　藤田晴美

1　活動目標
看護職が健康で安全・安心して働き続けられる環境づくりを目的に、平成29年度は職場のマネジメント強化と、人間関係の調整や職場のハラスメント対策に焦点を当て事業の推進を図る。

2　委員会開催　　12回

3　活動内容
（1）第1回労働環境に関する研修会
「マネジメントで活かすベテランの力」
日時　平成29年6月17日（土）9:30～16:30
場所　静岡県看護協会
参加者　83名（看護管理職）
講師　塚本尚子（上智大学総合人間科学部　看護学科教授）
目的　中堅からベテランの看護師がやりがいを持って働き続けられるための支援や職場づくりについて、看護管理者の立場から学び、実践に活かす。
研修内容
・看護組織のマネジメント
・人を活かすということ・組織を活かすということ
・自身の組織の強みの活用に向けて、具体的方策を考える（グループワーク）
・よい病院・病棟の組織風土を牽引していくために必要なスキルの習慣にむけたワーク

（2）第2回労働環境に関する研修会
「ハラスメント対応について学ぶ」
日時　平成29年11月11日（土）9:30～16:00
場所　静岡県看護協会
参加者　78名
講師　樋口ユミ（株式会社ヒューマン・クオリティーハラスメント対策コンサルト）
目的　現場の看護管理者が、スタッフの離職防止対策として、ハラスメント対応について学ぶことで働き続けられる職場作りに活かすことができる。
研修内容
・ハラスメントについて
・ハラスメント防止感度チェックリスト
・ケーススタディー、セクハラ、パワハラ、マタハラなどについて
・自己の職場の振り返り　ドライバーチェック
・相談しやすい職場づくりと実践
・相談対応ロールプレイ

（3）広報活動
目的　「看護しずおか」に医療安全情報を掲載することにより、医療安全の推進を図る。
＊「看護しずおか」6回掲載
掲載内容　「公益財団法人　日本医療機能評価機構　医療安全情報」が広く周知されるよう重要と判断した内容を抜粋した。

（4）研究について
テーマ　中高年看護師のキャリア形成に対する看護管理者の支援に関する研究
平成29年10月13日（金）日本看護学会　看護管

理において発表した。研究結果は、委員会活動や研修会企画に活用することができた。

4　今後の課題

職員の安全と健康を守ることを目的に、普及・啓発および交流会活動を推進してきた。

平成28年度実施の働き続けられる職場づくりに焦点を当てた調査研究結果から平成29年度は、看護管理者対象に中高年看護師支援のための研修を開催した。平成30年度は、「中高年看護師自身」に焦点を当てて、「やり甲斐を持って働き続ける手がかりを見いだせる場の提供の必要性」に対し、自らの看護を振り返り、仲間と共に語りリフレッシュすることで、前向きに働きつづけられることを目的に講演会を企画したい。

広報活動において「看護しずおか」に医療安全情報を掲載しているが、より会員の皆様に活用される情報を発信する。

平成24年に「医療施設における医療安全体制と、医療安全担当者に関する調査」が当委員会で実施された。医療事故調査制度が開始されるなど医療安全の取り組みにも変化があるため、再度現状を調査し、医療安全の整備推進に係る取り組みにいかす。

5　委員　6名

(助) 西岡恵美

(看) 藤田晴美　村井京子　藤城龍子　市川幸子
　　牛ノ濱千穂子

(担当理事) 鈴木千春

（V）学術研究推進委員会

委員長　鈴木かおり

1　活動目的

本委員会は、静岡県看護協会の教育目的・目標に基づき、看護の質の向上を図ることにより人々の健康と福祉に貢献するため、看護研究の推進と研修事業の充実を図ることを目的としている。

2　委員会開催　7回

3　活動内容

（1）第6回 静岡県看護学会の開催

日時　平成30年1月20（土）10:00～16:30

場所　静岡県ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝｱｰﾂｾﾝﾀｰ ｸﾞﾗﾝｼｯﾌﾟ10階

参加者　351名

テーマ　－ 感じよう! 語ろう! 看護の魅力! －

発表演題　23題　① 口演 8題　② 示説 15題

基調講演　－ 感じよう! 語ろう! 看護の魅力! －

講師　西村ユミ（首都大学東京 健康福祉学部 看護学科）

座長　鈴木かおり（静岡県立総合病院看護部）

シンポジウム　－ 感じよう! 語ろう! 看護の魅力! －

シンポジスト

原澤純子（常葉大学 健康科学部 看護学科）

高橋淳子（聖隷浜松病院 患者支援センター総合看護相談）

佐藤文恵（きちっと居宅介護支援事業所）

青木和惠（静岡県立大学 看護学部 看護学科）

座長　爪田久美子（聖隷浜松病院 看護部）

書籍展示　1社

（2）「看護研究の第一歩」

東部・中部地区で開催　各1日

7/8　順天堂大学 三島ｷｬﾝﾊﾟｽ　43名

講師　小川典子（順天堂大学保健看護学部）

6/14　静岡県看護協会　47名

講師　白尾久美子（日本福祉大学）

参加者計　90名

（3）「看護研究の基礎」

東部・中部地区開催　各3日間

8/9,10, 9/14　順天堂大学 三島ｷｬﾝﾊﾟｽ　15名

講師　近藤ふさえ（順天堂大学保健看護学部）

岩清水伴美（　〃　）

酒井太一（　〃　）

7/26, 8/10, 9/16　静岡県看護協会　21名

講師　白尾久美子（日本福祉大学）

参加者計　36名

（4）「効果的なﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ技法」

日時　10/28

場所　静岡県看護協会

参加者計　49名

講師　坂尾英明　（株式会社ﾒﾃﾞｨｶﾙｸﾘｴｲﾄ）

（5）本年度の静岡県看護協会看護研究費助成金交付事業への申請はなかった。

4　今後の課題

（1）学会の内容の質の向上と充実を図る。

ア　査読者から、研究者自身が研究課題に向けてより質の高い研究が創出できるように、数回のコメントのやり取りを行う。

イ　演題数の増加を図る

・本委員会の研修を学会発表に繋げられるように支援する。

・積極的に「看護しずおか」、「ホームページ」に掲載し、また、協会における研修前にスライド映写などで広範囲に広報する。

ウ　参加者の増加を図る。

・学会テーマやシンポジウムなどで、臨床現場の状況にそくしたテーマを選択し、企画する。

・積極的に、広範囲に広報する。

エ　学会参加者に満足いただけるように、ホスピタリティーのある対応を心がける。

オ　口演発表と、示説の両方に参加できるように

プログラムを企画する。

（2）研究に関する系統的研修の実施。

・「看護研究の第一歩」、「看護研究の基礎」、「効果的なﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ」の 3 つの研修が看護研究に繋がるような、系統的な研修となるように計画する。

・本年度から、「看護研究の第一歩」と「看護研究の基礎」は西部地区を中止して 2 か所で行ったが、参加数などで問題はなかった。

（3）看護実践の中にある研究動機を大切にして、臨床での研究活動が活性化されるよう事業について広報する。

5　委員　6 名

（看）鈴木かおり　原澤純子　爪田久美子
小野田弓恵　清好志恵　安田真美

（担当理事）牧野明美

特別委員会

（Ⅰ）認定看護管理者教育運営委員会

委員長　津島準子

1　活動目的

認定看護管理者教育課程の運営のための検討を行い、教育機関として質の維持・向上を図る。

2　活動目標

（1）様々な受講ニーズを踏まえ、各教育課程の開講の企画・運営について検討する。

（2）ファースト・セカンド教育課程を開講する。

（3）静岡県内の認定看護管理者の活動を支援する。

（4）静岡県内の看護管理者研修を開催する。

3　委員会開催　4 回

セカンドフォローアップ研修の出席　1 回

4　活動内容

（1）委員会

ア　ファースト･セカンドの各教育課程の運営と評価

イ　セカンドフォローアップ研修の運営と評価

ウ　平成30年度の教育課程開催要綱及びカリキュラムの検討（ファースト・セカンド）

エ　静岡県内の看護管理者研修会の開催

・テーマ：「地域包括ケア時代の看護管理者の役割～看護の独自性を大切にした管理とは～」

・講師：川村 佐和子（聖隷クリストファー大学看護学部教授）
鶴田 惠子（聖隷クリストファー大学看護学部教授）

・研修日：平成 29 年 12 月 7 日（木）

・参加者：69 名

・研修結果：

・病院及び介護施設等の看護管理者の活発な意見交換が行われた。

・法律と歴史的経緯を踏まえ、看護業務の考え方を再確認し、地域包括における新たな医療の在り方を踏まえた看護職の働き方について思考した。

・看護職が看護の独自性を見失うことなく、倫理観をもって看護を実践するためには、看護管理者の役割がいかに重要であるかを再認識できた。

（2）教育課程の運営

ア　ファーストレベル教育課程

・開催時間　156 時間（27 日間）

・平成 29 年 6 月 1 日～9 月 4 日

・69 名受講、69 名修了

・県内認定看護管理者 11 名に講師を依頼

イ　セカンドレベル教育課程

・開催時間　183 時間（32 日間）

・平成 29 年 9 月 6 日～12 月 8 日

・33 名受講　33 名修了

・県内認定看護管理者 12 名に講師とコーディネーターを依頼

ウ　セカンドレベルフォローアップ研修

・開催時間　6 時間（1 日間）

・平成 30 年 2 月 16 日（金）

・対象　平成 28 年度セカンドレベル受講生 33 名の内、31 名が参加（2 名欠席）

（3）静岡県内の認定看護管理者の活動の支援

・静岡県内の認定看護管理者を講師として登用する

5　今後の課題

・認定看護管理者教育課程への、受講生の年齢、職位、施設背景などの多様化、100 床以下の小規模病院、訪問看護ステーション、介護施設などからの申し込みが増加している。様々な受講ニーズへの対応が必要である。

・次年度の静岡県内の看護管理者研修会は、教育研修部が企画運営する。

6　委員　6 名

（看）津島準子　近藤ふさえ　桜井真理子
中野由美子　齋藤伸子　松井泰子

（担当理事）牧野 明美

（Ⅱ）看護の日・週間企画実行委員会

委員長　今井　碧

1　活動目標

「看護の心」普及啓発活動を通じて県民一人一人が看護について関心を高め、理解を深めるとともに、尊厳を守り支える未来に繋げていくことを目指す。

2　委員会開催 10 回

3　活動内容

「看護の日・週間記念行事」の開催

テーマ

「看護の心をみんなの心に　住み慣れた地域で暮らしを支える看護」

超高齢化社会を支えていくためには、人に対する思いやりの気持ちを持ち、世代を超えてお互いに支え合うことが大切です。そこで、市民が住み慣れた地域での看護・介護・福祉に関心を持つことができ、幸せな健康長寿社会について共に考えていきましょう。

日時　平成 29 年 5 月 13 日（土）10:00～15:00

場所　イオンタウン富士南

担当者　実行委員・協力委員など 82 名

来場者　1,693 名

内容

（1）健康チェック：血圧測定・骨密度測定・脳年齢測定・足指チェッカー

（2）相談コーナー：健康相談・認知症看護・介護と在宅療養相談・食育

（3）展示：地域看護のある風景写真展

（4）ステージ披露：キッズジャズダンス・ジャグリング・花架拳

（5）看護職の就業・進路相談

（6）タクティールケア

（7）その他：プリティナース撮影会・バルーンアート・ゆるキャラ出演

4　まとめ及び今後の課題

東部地域の看護職、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、行政が力を結集し「住み慣れた地域で暮らしを支える看護」をテーマにイベントを開催、来場者数延べ 1,693 名と大盛況だった。来場者アンケートから、看護の日の認知度は 36%、イベントは「前回の開催を覚えている」「事前周知で来場」という方もおり、広報と同施設での開催という効果もあったと考える。内容は、参加した各世代がステージイベントを楽しんだり、健康チェックや相談コーナー、認知症アンケートに回答することを通して、健康について考える機会となり、同時に幸せな健康長寿社会についても考える一助となった。

地域包括支援センターや行政からは、今後も機会があったらコラボしたいとの申し出もあり、ネットワークを拡大しながら、活動を継続することが必要と考える。

5　委員　7 名

(保) 前川美奈子

(看) 今井碧　石川弥生　泉外茂子　内田尚里　小川秋美　木村久美

(担当理事) 鈴木千春

（Ⅲ）看護職の心に残る「看取り集」編集委員会

委員長　平井弘美

1　活動目標

（1）個人が望む人生の最終段階を迎えられるように、看護職の立場で「看取り」の様々なあり方を情報発信する。

（2）看取りに関わる機会の多い看護職が、心に残っている体験を通して、自身の関わりを振り返り、その役割を再考、共有する資料とする。

2　委員会開催　5 回

3　活動内容

（1）広報、募集から発行、配布までの年間スケジュールの決定

（2）応募要綱作成

（3）審査基準作成

（4）検証

（5）校正

（6）入選作品の選出

（7）装丁デザイン等

（8）発行・配布

4　今後の課題

看取り集の募集に関する情報発信を広く病院、施設居住系サービス事業所、在宅系サービス事業所に広報する。

5　委員　6 名

(保) 平井弘美

(看) 古田里恵　芳澤ひろ子　名波まり子　水島史乃　赤堀奈緒子

(担当理事) 鈴木千春

（Ⅳ）学術集会運営委員会

委員長　齋藤伸子

1　活動目的

日本看護協会学会企画課と連携し、日本看護学会－慢性期看護－学術集会の全体進捗管理・企画・運営、評価に関する事項を協議・実践する。

2　学会開催日程、会場及び参加者予定者

日程　平成 30 年 9 月 27 日(木)～28 日(金)

会場　静岡県コンベンションアーツセンター グラ

ンシップ
参加者予定者　2,100 名

3　委員会開催　11 回

4　活動内容
（1）　学会メインテーマの決定
「“私”の声を紡ぐ慢性期看護の創造
～輝いて生きる～」
（2）　プログラムの企画
（3）　企画の趣旨、講師の選定、依頼
（4）　企画運営業者との委託契約
（5）　ポスターの作成、配布
（6）　共催企業の募集
ランチョンセミナー、企業展示、図書展示
（7）　抄録選考委員の選定
（8）　運営体制及び運営マニュアルの検討
（9）　後援依頼
(10)　開会式について

5　今後の課題
・　参加者がメインテーマの要旨を理解し、満足できるように準備する
・　演題発表数及び一般参加者数が目標に達するよう情報を発信する
・　運営マニュアルを検討し、会員の協力のもと、学会運営がスムーズに進行するよう準備する

6　委員　13 名（日本看護協会委員 1 名を含む）
（看）渡邊昌子　柏崎順子　片山はるみ　青木和恵
飯沼むつみ　加納江理　櫻井郁子 塩田美佐代
間淵元子　増田誠一郎　宗像倫子　齋藤伸子
（担当理事）　牧野 明美